

決議案第1号

令和2年 3月13日

白老町議会

議長 松田謙吾様

提出者

白老町議会議員 小西秀延

白老町議会議員 及川保

白老町議会議員 西田祐子

白老町議会議員 長谷川かおり

白老町議会議員 大淵紀夫

民族共生の未来を切り開く決議（案）

標記の決議（案）を別紙のとおり、白老町議会会議規則第8条の規定により提出いたします。

民族共生の未来を切り開く決議（案）

アイヌ文化の復興・発展の拠点として民族共生象徴空間（ウポポイ）が北海道白老町ポロト湖畔に、4月24日誕生する。

先住民族アイヌを主題とした日本初の「国立アイヌ民族博物館」と「国立民族共生公園」等からなるこの施設は、国では年間来場者100万人の目標を掲げ、道内においては官民一体となって誘客活動に取り組んでおり、道内各地のアイヌ文化振興の取り組みや食・観光等の地域の多様な魅力とつなげることにより、国内外への総合的な情報発信の強化となり、国民理解の促進が大きく期待される。

また、北海道を訪れる観光客のさらなる増加は、新たな産業の創出・既存産業の活性化など相乗効果も期待されるところである。

よって、白老町議会は、ウポポイ開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、白老町民の協力を得て「民族共生の未来を切り開く」決意をここに表明する。

令和2年 3月13日

北海道白老郡白老町議会

理 由

アイヌの人々は、長年にわたり独自の文化を形成していました。

2019年4月には、アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律（平成31年4月26日法律第16号）が成立し、アイヌ民族が先住民族であると初めて明記されました。

このようなことから、ウポポイが開設されるこの機会に、道内各地の町村から先頭に立って、民族共生社会を作り上げていくという決意を表明したく、決議案を提案します。